

「何故お前たちは全員、嘘をついたんだ？」

肺線維症の父、大陸横断サプライズ訪問で見た子供の真実

映画・健康エッセイスト こもり 小守ケイ

「君の健康状態では飛行機なんか無理」。感謝祭に子供達の帰省を待つもドタキャンされ、がっかりしたフランク。各地の子供4人を訪ねて驚かせる旅を思いつき、主治医に相談するところ返答された。

諦め切れない彼は「なら、電車かバスでは?」。しかし、医師は再び首を横に振り、PCBを扱う工場に勤めながら毎日2箱の煙草を吸っていた彼に、「君は肺線維症。肺が心配だ」。

8か月前に妻を亡くした彼。「今後は私が子供達に連絡したいから」と食い下がるも、「気持は分かるが、今は家で庭いじりに精出せよ」と言われる。

父を演じるのは、名優デニーロ。老親と成長した子供とのすれ違いを描く、小津安二郎

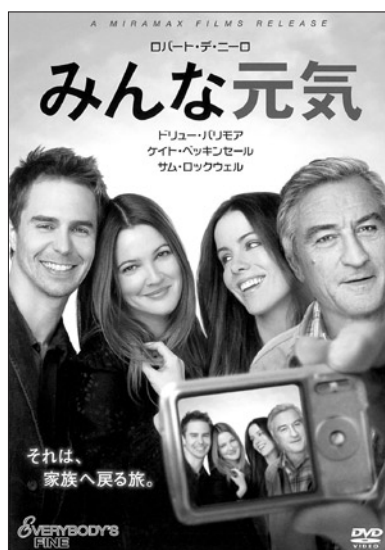
「東京物語」への敬意から製作された伊映画「みんな元気」(主演M・マastroヤンニ)のリメイク。誰にも覚えのある親子の光景に胸がつまるが、ハッピーエンドの分だけ「東京物語」より温かい。

必死に働き、お陰で子供はみな成功した

「医者も許可した。子供達に会って来るよ」。写真の妻に言い残し、薬持参でいざ出発。電車に乗ると、隣の女性に窓の外の電柱に掛かる電線を指して、「40年間の電線コーティング工事で4人の子を育て上げた」と子供自慢だ。

先ずNYで長男の画家デーヴィットを訪ねた

が、留守。しかし街で彼の絵をみつけ、「立派な芸術家になった」。次は長距離バスで遙かシカゴへ。広告会社管理職の長女宅を訪ねると、家はプール付き豪邸だが夫婦と一人息子の家庭は寒々しい。「今週は多忙で…」。仕方なく電車を乗り継ぎ、ロッキー山脈の麓、デンバーの音楽家の二男の元へ。肺を病む身には高地は厳しいがホールに直行すると、二男は楽団の太鼓担当。「なんだ、指揮者じゃないのか…」。



発売元：ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン
©Buena Vista Home Entertainment, Inc.
写真：右から父(フランク)、長女、二女、二男

薬も無く、短い間に 4000kmの大旅行

次の訪問地は、ダンサーの二女がいるラスベガス。「パパが行くぞ。デーヴィットの麻

薬での逮捕は内緒にな」。父をバス停に見送った二男が、長女からの伝言を伝えた。しかし、時差を忘れた父は、最終バスに乗り遅れてしまい、その上、道路際にうずくまっていた若者に襲われて、ポケットから薬が!「止める!大事な薬だ」。踏み付けられ、粉々になった薬をゴミから選り分け、拾って飲む。

辛うじて着いたラスベガス。「夢がかなったな」。高級マンションに住む二女に目を細めるも、留守電の“部屋を返して”や、シングルマザーを隠して“友達の子を預かっている”と取り繕う姿に不審を感じ、「薬も少なくなった。もう帰るよ」。長旅の疲れと子供達の現実への落胆のた

注：PCB (ポリ塩化ビフェニル) は電気絶縁性が高いため、電線コーティングに多用された。

映画「みんな元気」

カール・ジョーンズ監督、2011年、米

めか、ついに飛行機に乗ってしまう。

「大丈夫ですか?」。着陸まで40分の機内。徐々に呼吸が早まり息苦しくなった彼は、大きく息を吸い込もうとするも意識は遠のき、脳裏に子供4人の幼い頃の可愛い姿が現れる…。

「パパを失望させたくなかった…」

「心臓発作だったのよ」。空港から緊急搬送され、気が付くと、ベッドの周りに3人の子供が。「正直に話せ。デーヴィットはどこだ?」。観念した3人は「実はメキシコで死んだの。麻薬の過剰摂取で」。父の目から涙が流れ、そうか、絵が好きだったデーヴィットに「塗装屋じゃなく画家になれ」と繰り返したことも負担だったのか…。

「子供が幸せなら、それで十分」。回復後、NYの画廊を訪ねると、なんと倉庫にデーヴィットの“電柱にかかる電線の絵”が!それを買って帰った彼は、クリスマスに帰省した子供3人と絵の下で食卓を囲み、写真の妻に「みんな元気だ」と報告した。



肺線維症は体に酸素が入らない病気

呼吸とは吸い込んだ空気を、気管を通して肺胞という小さな袋に送り込み、肺胞の薄い膜を通して空気中の酸素と体内の二酸化炭素とを交換し、呼気として吐き出す一連の行為をいう。肺線維症では肺胞に炎症が起こり、薄い膜に線維が増えて厚くなりガス交換ができなくなる。その結果空気を吸い込んでも血中酸素濃度が上がらず息切れを生じ、進行すると安静時にも酸素吸入が必要になる。従って飛行機内は気圧が低いため、血中酸素濃度が上がらないので症状が悪化する。肺線維症と診断されてからの生存期間は2.5～5年といわれ、肺癌を併発しやすいので定期的通院が必要である。

原因は関節リウマチなどの自己免疫疾患や、職業上、あるいは家庭生活上で吸入する粉塵(ほこり)、カビ、化学物質、タバコなどである。化学物質の一つであるPCBは、体内に入ると癌や皮膚症状、肝障害などを起こし、少量でも長期間の吸入で肺線維症を引き起こすといわれている。PCBは電気絶縁性が高いので電線、電気器具に用いられたが、欧米では1970年代に、また、日本では1968年にカネミ油症事件が起きたため、1975年に使用が禁止された。

肺線維症の悪化の予防には、原因らしき環境因子があれば取り除き、喫煙は増悪因子なので直ちにやめる。治療にはステロイドや免疫抑制薬が用いられるが、無効な例も多く、開発中の抗線維化薬に期待がもたれている。

監修

結核予防会 新山手病院
生活習慣病センター長

みやざき しげる
宮崎 滋